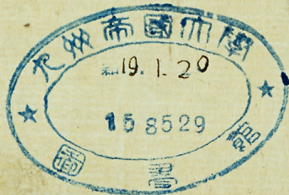




增補英抄四

曹元理が幸
趙達が幸
大友坊源性が幸
安堵晴明が幸
時々種々幸
龍美古幸の幸
いらは目付字幸

横横屋友海道
勾股換
曆美抄
一



疑抄
心之巻目録

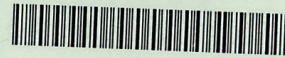
九州帝國大學理學部

6929

物理學教室

理学部 和 遡及

022132002012590



九州大学蔵書

曾園徒抄四

曹元理が事
趙達が事
久美坊源性が事
安堵晴明が事
時鐘が事
氣美右幸の事
いらは目付が事

曆美極
勾股換
縦横屋敷
道



疑抄 心之巻目錄



九州帝國大學工科大学

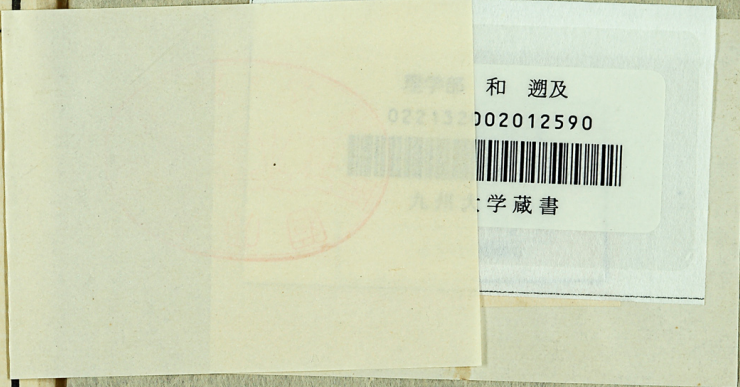
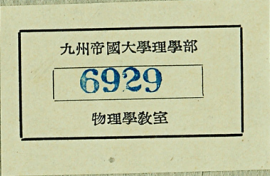
806030
4
大正 2 年 10 月 27 日
數學物理學教室

增補算法抄四

曹元理か事
趙達か事
安坊源性か事
安坊晴明か事
時鐘か事
氣美右幸の事
いらは目付か事

蓄麦乾之定法
世間誤り之部
孟の坪法
木換通引之算
縦横屋敷道
勾股換
曆算極意

增補算法疑抄 四之巻目錄



白股換羽三之巻
 白截換羽法
 同切口換寸
 二絶四色列法
 三絶三色列法
 二絶三色列法
 同兼大豆麦絶合
 同兼本之術
 白赤黒龍絶合兼本
 盈胸列法
 方基列法
 魚基列法
 粟石換羽三之巻
 白截列法

塵劫記之好貞教之部
 白股換羽
 白截換羽
 二絶四色
 二絶三色
 二絶三色
 盈胸法
 方基
 魚基
 粟石換羽
 白截換羽

中書に逸年屏板の書
 と出しい其比捨改英云
 方方の巻死と云わぬり
 空の枚多とぬれず書と
 心換に及及中と云ふ
 予か出出西理と押いて
 死と云ふんぬ我勝よ
 と今云ふに強と心換
 いてもえんけりよと乃
 ぬらざる神心の氣中の
 進でさうしめんか
 たれはくは是神文を以て
 予も中半より前巻
 けくいぬかいとどうし

増補英法額鏡抄 四之巻
 逸年岡板の英書と云ふにその
 方智と目録又ハ枚年此中書
 かとと書しに死しかへ換ふ
 古人死すは一規矩盈胸と
 いふに思童れとてあそびと
 志らも強り志ぐしと神心の
 さ由にげとかまり是よ此と
 よりあそぶと云ふと一死
 古くハの勳者と云ふ一人を
 柱と柱と云ふはしとみ候とあり

若人何々云々人南
町下町町屋におかて
某朝の額と意住宅せ
らるる小予何と云くも
色と云るとく彼欲と云
付初然も云々云々
はるる字々云々云々
人何々云々云々云々
疑々云々云々云々云々
乃極み云々云々云々
い云々云々云々云々
仁引々云々云々云々
にありいんとももの序
に以形身云々云々

備じ云々云々云々
乃事極法あるが由一に執公乃いと
わさばう云々云々云々
いんや云々云々云々
わら孫と云々云々云々
正法と云々云々云々
法人乃云々云々云々
いん川云々云々云々
光由も云々云々云々
教いと云々云々云々
だうと云々云々云々

一云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々

云々云々云々云々
教いと云々云々云々
くうと云々云々云々
百好と云々云々云々
より云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
教法と云々云々云々
飾と云々云々云々云々
く云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々
云々云々云々云々云々

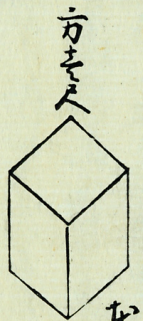
曾開疑抄四

あやうしつへは... 諸君... 由一... けに小... 尾の... 久か... 幸小...

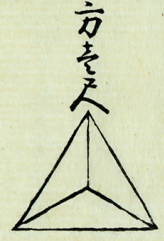
愚記小... 考種... 自記小... 幸小...

前小記... 坊補... 着書... て何... 樹小... 小汗... 友に... てあ...

或人... 法... 一〇八二五...



中坪千坪 惣拾坪八百九拾二坪七合



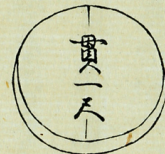
之中七寸五分 坪百〇八坪貳合五勺 定法五分〇八二五と知

昔後乃ちくわくを授け
想ふ知とぞいふ事なり
そとてはむ合のたがひも
なるといふ事なりまやに
崩落しく不定ありとらふ
てし下小急の急の急
つたふしとらふの急と
律義よく固まるとそ足
づよく後れはき後づり
と陰るるや後圓の崩と
荒小入りのなまの何れも
てわゆるのたつに紙と
付ふがいつとも英若乃
奇妙わくはとく後せよ
名ともしつたてしややく

とと南んのかまこと
そとせぬ崩れやうう
むくはの諸連よく英を
小豆扱中とらふまこと席
上に初らむく三下よとの
扱とらふと顔端とらふ書
にありよりそもま書の
扱とらふくちんれたと
方石の扱とてはまこと
又書かへんや彼諸集
んがたる小豆と書集の
唐んどもが家根よくそん
えとらと律義のわがいと
殊指せりともうとらぬ

音調定出四

之之老小記しとこいづく約股強
うの小わらせ道とよとこし用い道と
初法とそくはくはく也
或人言くとせると英若乃費坪法と
用らまは費と式及盤合入二みとけ
だしととらとは法入之の起い



貫一尺
定法 徑法五分二五知
周法 六十一〇二八知

先命法七九〇五と案合六拾貳坪各
又案合八寸と案合貳拾五坪と英若乃

坪と加八拾七坪五合と英若乃六方六
と案律法と知又用法の徑法五二五小
英周法二六二と除用法知英若乃術を
そとに兼口候と具小書とそとに義若乃
そとに法小あはれたと口義乃候と
か伏様郡康若乃他ありともは術
法りとそとに出入りともは法又
候人のとそとに出入り費と式及盤合
定法四九三と算と坪扱と知とそと
かしとそとにそとと坪扱の候と

六

あると奥別存建那に
境因乃お湯とくその天
換のたり係性とつらさ
きりはその収半由一なく
ねはとみ川はつづくにと
にさく松崎と一入せを
かきひくこれとむさけ
る下は目らと里をうり
まはひらんの系居とえ付
て名どうくむとかひ
奈内一なるにを信一人
ありて名いあんおくり
付たりとくあつゝの活
あつゝの系にとつて樹の
かゝんの系にとつて樹の

み分一も云五六二五とつても
四九二と用也け四九二にと少理ひ
る執知の方わがお獲てし細小
まは四九二。四ありとくは我度
源小安へも一たさば人拾人あつま
ば八九人を尤とらんといふいりや
そらとあ毎の人のむやといとと
も又お也たとい百人集うる人
ても不おのりくと益々一板波
者お法小五比臨場と引入
おかしたまともも理かとつて

つとてたまけたり
もまゝ種々の法つと
法むるにさるその奥義
とわいせりおまむけ傍
つやうん我いそ下一
の著作あり樹の系
とまゝ洞中へあてと
かゝるこゝまゝいやく
うりなんたひ花鑑人士
のめひたまゝ臨終の義
とつとも理とつとく
かゝるこゝまゝいやく
とつとも理とつとく
かゝるこゝまゝいやく
とつとも理とつとく
かゝるこゝまゝいやく
とつとも理とつとく

地中居く天とさう系
魚杖長刻融分をさく小
どらんやとさうとつとく
天地隔たりてさく
さくお法とさく
中が義神心ありとい
の目小くさくさく
者見関すさくさく
けは九二小色さく
執心の方わが相
まは四九二。四ありとく